

# 病害虫発生予察情報

## 7 月月報

平成 29 年 8 月 24 日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2017 年 7 月	気 温 (°C)						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	31.5	3.4	19.9	-0.3	26.4	2.7	77.5	134	70.5	187
中旬	33.2	3.6	22.2	0.6	28.0	2.9	38.0	82	91.8	230
下旬	31.1	0.1	24.0	1.3	26.9	0.7	52.0	89	42.6	68
平均	31.9	2.4	22.0	0.5	27.2	2.1				
合計							167.5	103	204.9	146

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

#### <天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬は高く、中旬はかなり高く、下旬は平年並だった。
- ◎ 降 水 量：上・中旬は少なく、下旬は平年並だった。
- ◎ 日照時間：上・中旬は多く、下旬は少なかった。

上旬：期間の前半は梅雨前線や台風 3 号の影響により曇りや雨の日が多く、後半は高気圧に覆われ晴れの日が多くなった。

中旬：高気圧に覆われて晴れての日が多かったが、梅雨前線の影響や、上空の寒気による大気不安定のため雨が降った日があり、特に 18 日にはひょうが降ったところがあった。

なお、関東甲信地方は 7 月 19 日ごろに梅雨明けしたとみられる（速報値）。

下旬：前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、雷を伴った日もあった。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

植え付け後の生育は順調であった。

#### (2) 野菜類

果菜類：露地のトマト、キュウリの収穫はおおむね終了となった。ナスは生育前半の乾燥の影響で遅れ傾向であったが、回復してきている。エダマメやスイートコーンは生育や収穫がやや早まる傾向であった。

葉根菜類：コマツナの生育はおおむね順調であった。キャベツの苗床での生育はやや不良であった。ニンジンの一部で発芽が不良であった。

#### (3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水：天候の影響で、肥大にムラが出ている。

#### （4）茶樹

6月からの少雨のため1茶摘採後、新梢の伸びが例年より少なかく摘採時期も遅れていた。しかし、6月下旬のまとまった降雨により伸長がすすみ、例年以上の2茶の収量が得られた。7月の生育状況は、ほぼ平年並であった。

### 3 病害虫の発生概況

#### （1）イネの病害虫

いもち病（平野部）	< 並 >	発生は平年並であった。
いもち病（山間部）	< やや多 >	発生はやや多かった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

#### （2）果樹の病害虫

##### ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。

##### 果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 並 >	フェロモントラップの誘殺数はやや少なかった。予察灯の誘殺数は平年並であった。
クサギカメムシ	< やや多 >	予察灯の誘殺数はやや多かった。

#### （3）茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

#### （4）野菜の病害虫

##### トマト

モザイク病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナス		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
 (5) 花きの病害虫		
シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

## (6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-------	---------	-------------

## (7) 島しょの病害虫

三宅島：キュウリでウリハムシの発生が認められた、トマトでトマトサビダニの発生が多かった。パッションフルーツで一部の圃場において疫病の発生が見られた。

御蔵島：野菜類全般においてコナジラミ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

## 4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月14日	8月10日	0	0
大田市場	7月14日	8月10日	0	0
板橋市場	7月14日	8月10日	0	0
淀橋市場	7月14日	8月10日	0	0
北足立青果市場	7月14日	8月10日	0	0
青梅青果市場	7月7日	8月7日	0	0
八王子北野市場	7月7日	8月7日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月7日	8月7日	0	0
国立市場	7月7日	8月7日	0	0
東久留米市場	7月7日	8月7日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、大田市場及び北足立市場で、それぞれ1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

## 病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/azen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。